十勝毎日新聞
発行所
十勝毎日新聞社
©十勝毎日新聞社 2005
〒080-8688
帯広市東1条南8丁目
TEL(代表)0155-22-2121
編集局 0155-22-2121
広告局 0155-23-2323
販売局 0155-24-2222
事業局 0155-22-7555
総務局 0155-24-2299
広尾支局 01558-2-4111
池田支局 01557-2-2367
本別支局 01562-2-2618
新得支局 01566-4-5524
札幌支社 011-261-2161
東京支社 03-3544-1365

「自動車修理」は リサイクルパーツで
廃車処理ご相談下さい。
リサイクルパーツ専門販売
㈱日興商会
帯広市西19条北1丁目
☎33-3266

31日の天気
晴れ時々くもり
（帯広市）詳報は最終面

きょうの紙面
ズコーシャがISMS認証 ＜3面＞
スマトラ沖地震で、430人死亡 ＜5面＞
90歳超えゲートボールに夢中 ＜21面＞
ガソリン5円前後値上げへ ＜27面＞

購読のお申し込みはフリーダイヤル
0120-25-3999
www.tokachi.co.jp/hanbai/
紙面へのご意見・ご要望は
読者センター22-2121
十勝毎日新聞ホームページ
www.tokachi.co.jp/

十勝モーターパーク

TIS年内売却へ詰め

午後の株主総会で提案　数社と価格交渉

十勝モーターパーク（更別村、植村高志社長）は、更別村に所有する国際サーキット場「十勝インターナショナルスピードウェイ」（略称・TIS）の年内売却で詰めの協議に入る。TIS買収に関心を示す首都圏の数社との価格交渉に移行する方向。30日午後の株主総会で売却交渉の続行を提案し、一定期間、会社組織を存続させて対応する。（児玉匡史）

同社は、施設建設費などで多額の経常赤字を抱え、04年12月期の未処分損失は約23億円。サーキット場の売却が課題となっている。昨年4月の株主総会では1年間営業を継続し、売却交渉を進めることを決めた。

当初予定した猶予期間が3月末で切れることから、同社は30日午後1時から帯広建設業会館で開く株主総会で、株主の了承を得た上で期限付き売却交渉に入る方針。交渉先企業名などは明らかにされていないが、これまでと違って「複数と交渉できる状況に進展した」としており今後、具体的な交渉を本格化させたい構えだ。

売却先決定後、売買契約の成立には再び株主総会を開く必要がある。仮に売却が成立した場合、十勝モーターパークは法的な整理手続きに入る。

TISは現在、モーターレース会社のインターランド（東京）が十勝モーターパークから借りて運営している。今年で開業12年目。7月の自動車レース「第12回十勝24時間レース」をはじめ数々のモータースポーツのイベントを予定している。

株式会社 美匠SHO
帯広市大通南3-8セントラルビルB1F ☎0155-22-9002
新築の家づくりお任せください。
設計・施工・パック専門店

音更町長選

山口氏が無投票3選

「財政健全化の基盤つくる」

【音更】任期満了に伴う音更町長選は29日午後5時で立候補の受け付けが締め切られ、ただ1人届け出た現職の山口武敏氏（65）＝無所属、2期＝が無投票で3選を果たした。（2面に関連記事）

山口氏を乗せた選挙カーは午後5時すぎ、遊説を終えて選挙事務所（木野大通西6）に到着。車から降りた山口氏を、駆け付けた支持者や管内各自治体の首町らが祝福の拍手で出迎えた。

事務所内で行われた当選確認集会では、本家宏通選対本部幹事長が無投票の確定を報告。塚本勧選対本部長が「山口氏を先頭に、新時代の音更町づくりへまい進しようとの町民の意気込みが無投票となって表れた」とあいさつ。大谷亨、佐々木恵美子両道議、十勝町村会会長の金澤紘一陸別町長、砂川敏文帯広市長、中村定二JA木野組合長が祝辞を述べた。

山口氏は「無投票は光栄だが、半面その重責を感じている。地方自治は今、大変革の時。財政健全化や地方分権への対応など、この4年間でこれからへの基盤をしっかりつくりたい」と3期目への決意を語った。

最後に、大場博義音更町議会議長の音頭で全員で万歳三唱。事務所の外からも大勢の支持者が見守り、当選の喜びに浸った。同町長選での無投票当選は1989年以来16年ぶり。（金谷信）

やまぐち・たけとし
1940年、本別町勇足生まれ。帯広柏葉高校定時制卒。61年4月音更町役場に奉職。広報広聴課長、企画課長、市街地開発推進室長、振興部長を経て97年4月の町長選で初当選。2001年4月に再選を果たす。

万歳する山口氏（中央）。前列右から中村ＪＡ木野組合長、恵子夫人、左から大谷道議、砂川帯広市長（29日午後５時45分、折原徹也撮影）

鉄路消滅　ふるさと銀河線廃線へ…下

多額の負担、住民の足どう確保

バス転換

運行の詳細 論議はこれから

「帯広への通院は息子に迎えに来てもらうしかない。今は車を運転できる人でも、いずれ年を取れば私のように困る」

町の衰退を懸念

廃止を知った足寄町内の女性は不安そうな表情で、池田行きの列車に乗り込んだ。過疎化が進む沿線町では、鉄道廃止とバス転換によって便利な都市部への人口流出に拍車が掛かり、町の衰退を招くのではないかと危ぐする声が聞かれる。

道が示したバス転換の基本的な考えは、民間バス会社が運行主体となり、現在の銀河線の運行経路を基本に陸別を中間点とした十勝側と北見側の路線を設定するとしている。現在バスが乗り入れていない陸別は、現行の銀河線の輸送水準を最低限確保、具体的な運行内容は道運輸局が設置する「地元協議会」において決めるという。

関係者協議会では昨年6月に並行してバス転換の検討を進めると合意していながら、バス転換の内容を整理しないまま"廃止"の結論を出してしまった感は否めない。2月末の協議会で道のバス転換案が示された際、出席首長からの質疑はなかった。沿線町幹部は「存続を訴える中でバス転換の議論はタブー視されてしまった」と振り返る。

バス転換により運賃は跳ね上がる。道の試算によると、通学定期の場合、陸別―足寄間では銀河線の月1万3480円に対し、バス定期は2万8870円と倍以上。負担軽減のため基金を活用した運賃の差額補助を行う方針が確認されたが、補助期間は確定していない。子供を銀河線で本別高校に通わせる陸別町の役場職員も「来年は下の子も通学する。定期代が高くなれば負担は大きい」と心配する。

一方、収支試算では逸走率（バス転換によって客が減少する割合）を考慮した場合、逸走率5％でも単年度赤字は1億1800万円となり、沿線市町に求められる補助金額は3200万円となる。このうち8割は特別交付税で措置されるとするが、「どれだけ「距離以外も加味して負担割合を決める方法もある」「地域振興課」と話し、負担の見通しに神経をとがらせる。バス路線が通る帯広や幕別に新たに発生する可能性のある負担金についてもこれからの協議だ。存続を訴えてきた足寄町民の会代表の斉藤健司さんは「財政負担が増えたときに本当に住民の足を守ることができるのかと声を荒げる。

残された論点

既存路線との整合性や各町の負担割合も今後の論点の1つ。路線延長が長い池田町は1億3000万円にも上る。

「住民の足を確保するため銀河線を廃止する」繰り返し強調された言葉通り、廃止論議で残ったしこりを乗り越え、バス転換論議を十分に尽くさなければならない。鉄路で結ばれた1市6町は連携した振興行事を開催してきたが、地域衰退を食い止めるため廃止後もつながりを断つことなく、協力していく動きが求められている。（古川雄介）

バス転換は既存路線との関係など今後詰める要素が山積。地域衰退を回避するため、１市６町には十分な論議が求められる（足寄駅前）

帯開建予算

高規格道に重点配分

前年当初比9％増の533億円

北海道開発局帯広開発建設部は29日、2005年度予算概要を公表した。帯広開発建設部実施分は前年度当初比9％増の533億円、高規格幹線道路や国営かんがい排水事業に重点配分した。

部門別では道路整備が252億7300万円（同12・3％増）、農業農村整備が132億4000万円（同23・2％増）、道路環境整備が18億2100万円（同2・8％増）、水産基盤整備が6億円（前年同）。前年割れは治水の114億9900万円（同2・8％減）など。

高規格幹線道路帯広・広尾自動車道の整備として、とかち帯広空港と接続する川西中札内道路の帯広川西IC―幸福IC（仮称）間の13キロを年度内に部分供用する予定。道横断自動車道は本別、浦幌町内で一部改良、橋りょう工事に着手。

農村整備事業は11地区。新規着工の札内川第2（2期）地区は帯広など4市町村で、札内川ダムを水源に用排水施設298キロを整備する計画で11年度までに233億円の事業費。今年度は札内川第1（2期）地区と合わせ用水管路74キロを整備。総合農地防災事業は、下浦幌の1期、2期地区と大樹町生花地区で農地保全工（置土、暗きょ）を行い、幕別ダムを水源とした畑地かんがいも進める。

河川事業では千代田新水路の築堤整備や掘削事業を進め、港湾整備は十勝港外港地区で整備している船揚場など係留施設を完成させ06年度の供用開始を目指す。（広田実）

よつ葉乳業

社長に帯広出身の堀部氏

堀部一郎社長

【札幌】道内大手乳業メーカーのよつ葉乳業（本社札幌市）の役員人事で、29日付で藤居紘氏に代わり、帯広市出身の堀部一郎常務（56）が社長に昇格した。藤居氏は代表権を持つ会長に就いた。

堀部氏は酪農学園大卒。1971年4月に北海道協同乳業（現よつ葉乳業）に入社。経営企画グループ部長などを歴任し、2001年6月取締役、03年6月から常務。（3面に関連記事）

イオンと稲田下川西区整組合

出店前提に本格協議へ

大手総合スーパー・イオン（千葉）の帯広市稲田町への出店構想で、地権者の稲田下川西土地区画整理組合（増田博理事長）は出店を前提にした協議を同社と本格化させる。出店計画が当初想定より遅れており、同社に接触して確認。30日午後に開いた総会で地権者に状況説明した。来年秋の開業を目指し、店舗形態や規模など細部を調整する。

出店予定地は国道236号沿いの同区画整理事業区域。敷地6・8ヘクタールに、約2万平方メートルの店舗を建設する内容。ただ、同地域は都市計画法上、大型店を建設できないため、同組合は昨年4月に出店を可能にする用途地域変更を市に要望した。

当初予定では昨年12月までに出店条件で一定のめどをつけ、2006年春の開業を目指していた。しかし、店舗が周辺環境に及ぼす影響など条件整備に時間がかかり、市は用途地域変更の是非に関する判断を先送りしている。

この間、イオンは十勝毎日新聞社の取材に対して「出店を検討している候補地の1つ」（コーポレートコミュニケーション部）としていた。しかし出店の動きが具体的に進展しておらず、地権者などから「出店断念」の憶測も呼んだ。

このため、同区画整理組合は30日午後2時からJA帯広かわにし稲田支店で開いた総会で、地権者に現状を説明する必要があると判断した。増田理事長は「イオンは出店方針を変えていない。組合としても引き続き精力的にイオンと接触、実現できるよう努力したい」としている。（児玉匡史）

編集余録

だめづくし

高校に入って、数学が全く分からなくなった。ちんぷんかんぷん。黒板の文字がわびしく踊る。ぼうぜんと窓の外を見つめるのみ。物理も化学も、先生の説明が意味不明。分からないってことがこんなにむなしいことだとは思わなかった。つらいんじゃない、アホらしい。そんな気分▼野球にサッカー、ついでにバスケットボール。一度は本気で志したスポーツだ。でも、結局は続かなかった。運動神経は良かった。ただ、根性がなかった。精神力も重要な才能の1つ。それが欠けていたらしい▼てた記憶もほとんどない。相思相愛など夢のまた夢。異性にチヤホヤされる光景が想像できなかった。ちなみにもてるやつは嫌な男が多かった。今考えると、ほとんどしっとだ▼英語を話せるようにと、カセットの教材を買って聴いたこともあった。これも、しょせん〈おいら〉は日本人と居直っておしまい。今でも流ちょうに英語を話す人を見ると、〈てやんでい〉と道産子のくせに江戸っ子を気取ってみる▼春の陽気に誘われたからだろうか、ぼんやりと今まで挫折してきたことを思い出してみた。好奇心は旺盛だが、飽きっぽい。1つのことだけに集中できない性格だなとあきれた次第。人に影響されやすいのだろう、友人に面白いとかすごいぞなんていわれると大変。自分も体験したくてうずうずしてくる。とはいえ、そんな自分は嫌ではない▼挫折の数だけ人は年輪を重ねる。夢のはかなさを知るからこそ、人は人生にプライドを持つ。希望を携えて新しい世界に旅立つ季節。挫折も人生でそんなに悪くないと、少しだけ心の隅にとどめてほしいなと思った。（田中厚一）

毎日AM9:30～PM4:00開場（日曜日・祭日も毎日!!）
カントウ展示会 3/31(木)～4/1(金)
芽室町北伏古南9線9
(0155)37-8880 携帯090-5951-1807
カントウ展示会場
■軽トラック用ゴムマット 厚さ5mm 高強力、高耐候、保護マット、色:黒色、材質:合成ゴム、サイズ:1400×2010mm 新品 1枚 5,000円(税込)
■トラックシート（ターポリン）軽トラック用（1.8m×2.1m）ゴムバット10本付 グリーン色 新品 1枚 3,000円(税込)
■大型石油ブルーヒーター FM-811 (8,000kcal/h) 30,000円(税込) 1台 中古 (本体価格28,572円)
■転圧プレート 1台 49,800円(税込) (本体47,429円) 中古
■立ランマ 4サイクル、ガソリンタイプ 中古 1台 52,000円(税込) (本体49,524円)
■高所作業車 タダノ AT-165TG 16.5m-3.5t車クラス 平成元年製、走行37,680km 検/H18/9/14-5F、レッドピンク（スタッドレスタイヤ付） 1台 98万円(税込) (本体:933,334円)
■6型ハウス (7.2m×2.5m≒5.4坪) 1棟 36万円(税込) (本体価格:342,858円) 中古
■2型物置（木目） (3.6m×1.8m≒2坪) 1棟 17万円(税込) (本体価格:161,905円) 中古
■5型ユニットハウス みかげ調 5.4m×2.5m≒4.1坪 1棟 346,500円(税込) (本体価格330,000円) 中古
■ライトバン 日産ADバン 2200cc、5F、ディーゼル、4WD、エアコン、120,000km、白色、平成12年8月式、検/H17.4.29 1台 32万円(税込) (本体価格304,762円)
■6型2連棟(6W) 合わせハウス (木目調)7.2m×5m≒10.9坪 中古 1棟 680,000円(税込) (本体価格 647,620円)組み立て費30,000円
■1.3㎥タイヤショベル キャタピラー三菱910F 1995年12月製 2,080hr 検/17.10.2 1台 329万円 (本体価格3,133,333円+消費税156,667円)
■0.4㎥ タイヤショベル 日立 LX20-2 1996年7月製 3,040hr 1台 195万円(税込) (本体価格1,857,143円)
■0.4㎥ タイヤショベル 三菱WS210 2001年11月製 550hr 1台 215万円(税込) (本体価格2,047,620円)
■簡易 水洗トイレ 水タンク60ℓ タンク容量450ℓ フットポンプ: 1回のストローク250cc 1台 中古 89,000円(税込) (本体価格84,762円)